

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	グループホームの理念が併設の老人保健施設と同じものであるため、グループホーム独自の理念が必要である。	グループホーム独自の理念を具体的なものにする。	職員の意見を聞き、具体的な理念を考え職員全員の参画により共同で作成する。又、定期開催の職員会議で読み合わせを行い、意思の統一を図る。	3ヶ月
2	2	民生委員や役場の職員を通じて地域の季節行事には参加しているが、日常的な交流の場を設ける必要がある。	「向こう三軒両隣」に向けて地元の活動、地域住民の交流に積極的に参加する。	地域で行う奉仕活動や老人会活動等への参加を行う。又、グループホームの行事に地域住民を招待する等訪問しやすい関係を作り、地域住民との交流を図る。	6ヶ月
3	11	職員の意見が運営に反映されるようにコミュニケーションを活発にしていくこと。	管理者、リーダーの職員の声に耳を傾け連携を図り、働く意欲の向上や質の確保に繋げる。	月1回の職員業務カンファレンスの開催及び2ヶ月1回の法人内の地域密着サービス事業所会議を開催し、コミュニケーションの場を設ける。又、申し送りノート、日誌を活用し全職員に伝達する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。